

## 知多市生涯学習まちづくり推進計画（案）のパブリックコメント実施結果

- 1 実施期間 令和2年12月18日（金）～3年1月22日（金）  
 2 意見の提出方法 書面で直接、郵送、ファクシミリ又は電子メール  
 3 意見の提出者数 3人（7件）

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
1	—	—	新型コロナウイルス感染症の対応	新型コロナウイルスへの対応が言及されていない。十分な配慮・対策が必要である。	感染症対策については、「P21基本施策 2 多様なニーズに対応した学習の機会の提供」において、感染症対策を講じた事業を実施する旨の記載をしており、「P21取組項目 No.5オンライン講座の配信」や「P24取組項目 No.12勤労文化会館事業の充実」においても、コロナ禍でも安心して参加できる講座などの充実や新しい生活様式を取り入れた事業の開催を掲げています。 ご意見を参考に、「P14基本目標 (1)学びの第一歩を踏み出せるきっかけづくり」においても「自宅や通勤の隙間時間などいつでも、どこでも受講できる動画配信やオンライン講座などを充実します。」と追記し、今後も対策を講じていきます。
2	2	14	5基本理念・基本目標	コロナ禍の進展と、収束後のアフターコロナを考えると、これまでの延長線での考え方は変えるべきと考える。「三密の回避」をはじめとした行動様式の変容が必要です。したがって、大人数・対面・アナログの学び・教育をどう変えていくかを示してほしい。また知多市では、緊急財政改善プランも策定中であり、費用節減・費用対効果の点からも整合性を取ってほしい。	生涯学習の方法として、いつでも、どこでも、だれでも、主体的に楽しく学習できる機会の提供が重要であると考えており、「P21取組項目 No.5オンライン講座の配信」において、自宅や通勤の隙間時間など自分の好きなタイミングで受講でき、コロナ禍でも安心して参加できる講座などの充実を掲げています。 ご意見を参考に、「P14基本理念 (1)学びの第一歩を踏み出せるきっかけづくり」においても「自宅や通勤の隙間時間などいつでも、どこでも受講できる動画配信やオンライン講座などを充実します。」と追記するとともに、「P29取組項目 No.17中央図書館サービスの充実」においても「電子書籍等、新しい書籍の提供方法を検討していきます。」と追記します。 また、事業の推進については、費用対効果を考慮しながら検討していきます。

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
3	3	28・32	No.15市民が利用しやすい新図書館の整備	前述の項と関連するが、図書館の新築は不要。大府市・東海市でも中央図書館は市の中心部に位置し、延命補修をベースとして、駐車場やコミュニティバスの利便性も高い現立地にすべきである。	朝倉駅周辺整備事業における事業者公募の延期に伴い、新図書館整備事業も併せて延期することとなりましたが、朝倉駅周辺整備事業に沿って図書館を新たに整備することによって、施設の老朽化や利便性の向上等の現状の図書館が抱える各課題に対応し、多世代のいこいの場となるよう検討していきます。
4		29・33	No.16スポーツ施設の整備（温水プールの活用）	計画では利用料金500円/回では、利用者は限定される。また、加えて駐車料金も掛かると言う。利用する市民目線にたった計画に変更すべき。	温水プールの利用料金については、西知多医療厚生組合が策定した健康増進施設整備基本計画のパブリックコメントの組合の考え方に「東海市と知多市の公共施設及び類似事例の状況を踏まえ、1回当たり500円を目安とし、整備・運営事業者から具体的な料金体系の提案を受け、決定する予定。また、建設予定地周辺では、愛知県サッカー協会による知多市フットボールセンターの整備が検討されているため、開業時点での周辺駐車場の料金体系、受益者負担の観点等から駐車料金を検討する。」と示されており、本市としても同様の考えです。
5		35・39	No.23地域学校協働本部の設置及び地域学校協働活動推進員の配置	地域学校協働本部、地域学校協働活動推進員について実効性のある方策とは思えない。方向性に無理があるように思える。	制度の導入にあたっては、地域と学校が連携・協働を円滑に行うことができる緩やかなネットワークを目指しております。そのため、地域の方々が参画しやすく、各地域の特性を活かした仕組みの整備を検討し、組織的に安定した活動を継続的に行うことができるよう進めていきます。
6		48	(1)地域で活躍できる人材の発掘・育成	ぜひ数年前に廃止となった「大人の学校」を復活して欲しい。多くの地域リーダー・ボランティアリーダーが育成され地域に貢献している。	「大人の学校」は、「まちづくり人材育成事業」として平成19年度から平成27年度まで団塊の世代を対象にセカンドライフ対策として、市民活動に招き入れ、いきがいの創造と市民活動の活性化を目的に行った事業です。「大人の学校」の卒業生は274名おり、多方面で活躍されており、目的を達成することができたと捉えています。 「まちづくり人材育成事業」は、現在も実施しており、地域に貢献できる人材の発掘と育成を目指して、「大人の学校」をリニューアルし、現役世代を含めた新たな人材育成を行っております。今後も事業の更なる充実を検討します。

No.	章	ページ	詳細項目	質問・意見内容	市の考え
7	4	55	計画の進捗管理	広範囲に亘る活動計画が、丁寧に述べられていると思った。成果を期待する。「社会教育審議会」での点検・評価を、その都度住民に報告（公示）することを明示してほしい。	進捗状況を確認することができるよう、市ホームページ等で公表する旨の記載を追記します。